

総合防犯設備士のパンフレットが完成

防犯設備士の上位資格としての総合防犯設備士とはどのような資格で、防犯設備士との違いや活躍の場の事例などを紹介しています。

実務経験 3 年を積まれた防犯設備士の皆様、総合防犯設備士へのステップアップをお待ちしております！

パンフレットが必要な方は、協会まで連絡をお願いします。

【掲載内容】

- 1.期待される総合防犯設備士
- 2.資格を取得するには
- 3.活躍の場
- 4.制度の歩み



【以下、掲載内容から抜粋】

1. 期待される総合防犯設備士

総合防犯設備士は、防犯設備士の上位資格です。

- (1) 防犯設備士の資格取得後3年以上の実務経験をもって、さらに総合的な専門知識や判断力及び応用力によって、防犯システムにおける **監理、監査、コンサルティング** ができる能力を有する、**防犯設備関係の認定資格としては国内最高ランクのものです**。「ハード（設備）面」だけでなく、**管理体制の構築・セキュリティ意識の高揚・監査**など、いわゆる「ソフト面」も含めた提言をします。
- (2) 防犯設備士に対する指導・育成業務を行うことができます。
- (3) 「セキュリティのプロ中のプロ」として地域住民や警察・自治体関係者などと協力し、積極的に地域での防犯活動を展開して、地域の安全安心に貢献しています。これらの活動の中で、リーダーシップを発揮できる者として期待されています。

3. 活躍の場

防犯設備士の指導

受験セミナーの講師は、総合防犯設備士の中から、模擬講習試験などをクリアして協会から特に認められた者が担当しており、問題の解法だけでなく、その背景にある考え方や総合防犯の理論が理解できる指導を行っています。



受験セミナー

フードディフェンス

FSMA（米国食品安全強化法）の要求を見据え、HACCP制度（危害分析重要管理点）と連携し、防犯環境を構築。総合防犯設備士ならではの切り口で、食品汚染・異物混入対策に貢献しています。



展示会での講演



食品工場診断

安全安心なまちづくりへの参画

2016年8月、大阪府では、住宅侵入犯罪等抑止対策協議会などが締結した「トリヴェール和泉の開発に伴う安全なまちづくりに関する覚書」に基づき、NPO法人 大阪府防犯設備士協会の「戸建認定制度」による審査・認定を同協会の総合防犯設備士が実施しています。



住宅侵入犯罪等
抑止対策協議会総会



トリヴェール和泉
審査風景

セキュリティショーでの防犯相談と パネルディスカッションへのパネラーとしての参加

防犯相談コーナーにて、相談員として活動。住宅の相談だけでなく、企業や自治体などから防犯カメラの設置計画の策定やリスク管理などの様々な相談に対応。パネルディスカッションにも毎年参加しています。



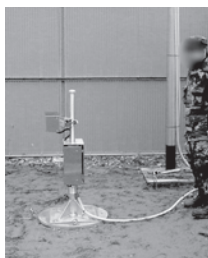
防犯相談コーナー



セキュリティショー
「被災地で発生する悪質な犯罪への対策」

大規模施設などの防犯コンサルティング

発電所、港湾、空港などの重要施設の防犯システムの設計からマンション、学校などのコンサルティングを実施。特に学校などは、不審者の侵入防止と登下校時の安全確保が重点項目となっています。



発電所外周警戒検知器診断



学校防犯診断・指導